平成２９年度　学校安全計画

		４　月	５　月	６　月	７・８月	９　月	１０　月	１１　月	１２　月	１　月	２　月	３　月
安全目標		安全な登下校をしよう 避難経路を確認しよう	施設、設備の適切な使用方法を学ぼう	梅雨期を安全に過ごそう 体育祭を安全に実施しよう	夏の事故を防止し安全に過ごそう	事故災害から身を守ろう	交通法規を理解し守ろう	危険を予測し安全な生活をしよう	事故の原因について学ぼう	冬期を安全に過ごそう	地域防災、安全について学ぼう	安全な生活ができるようにしよう
安全行事		避難訓練(火災) 不審者対応訓練	避難訓練(津波) 交通安全教室	サイバー犯罪防止教室		地域防災訓練（地震）		避難訓練(火災)			薬物乱用防止教室 年度末反省	次年度計画
安全管理	対人管理	通学路確認 避難経路確認 事故発生時対応確認	自分でできる安全確認	校舎内での安全な過ごし方 けがの予防	プールにおける安全管理 夏期休業中の部活動等の安全	身体の安全及びけがの予防 避難経路確認	文化祭の準備と安全	通学時の安全	ストーブの安全な使用方法	教室内の換気 避難経路確認 災害への備えと協力（地域）	心の安定と事故防止	１年間の反省 けがの発生状況
	対物管理	校舎内外安全点検 設備の点検、整備		エアコン使用 運動場の整備	プールの整備	防火設備用具点検		エアコン・ストーブ使用 ストーブ整備	防火設備用具点検			
安全教育	安全学習 道徳	○集団や社会とのかかわり（役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める・法やきまりの意義を理解し社会の秩序と規律を高める・よりよい社会の実現のために公徳心、社会連帯の自覚を高める）										
	保健体育	○心身の機能の発達と心の健康（１年）○傷害の防止（２年）○健康と環境（２年）○健康な生活と疾病の予防（３年）＜健康管理徹底、体力に応じた課題設定・用具や練習場所の安全に留意する＞										
	理　科	○大地の成り立ちと変化　○気象とその変化　○自然と人間　　＜理科室の使用上の注意　・実験時の危険防止と安全な薬品の取り扱い、ガラス器具の安全な使い方、野外観察時の注意等＞										
	社　会	○日本の様々な地域（イ：世界と比べた日本の地域的特色（ア）自然環境）ウ：日本の諸地域（ア）自然環境を中核とした考察　○私たちと現代社会　○私たちと政治）										
	美　術	＜美術室の使用上の注意　・刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導＞										
	技術 家庭	○Ａ材料と加工に関する技術（材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる）○Ｂエネルギー変換に関する技術（機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる） ＜金工木工室の施設設備の使用に関する安全指導＞ ○Ｂ食生活と自立（３）日常食の調理と地域の食文化　Ｃ衣生活・住生活と自立（２）住居の機能と住まい方について＜調理室、被服室の設備器具の使用に関する安全指導＞											
	安全指導 学級活動	交通規則確認 通学路確認 登下校の安全 犯罪被害の防止 部活動での安全	交通事故防止 自転車の正しい乗り方 けがの予防 宿泊行事での安全	梅雨期の安全	水泳時の安全 落雷や風水害の危険 夏休みの生活と安全、防犯	地震による危険と避難 災害に向けた備えと地域への協力 体育祭にむけての安全指導	交通法規の意義と安全 文化祭準備と安全 正しい用具の使用方法	登下校の安全	ストーブの安全使用 教室内換気 冬休みの生活と安全、防犯	ストーブの安全使用 地震による危険と避難	けがの発生状況と防止	一年間の反省
組織活動	安全部 管理部	防災計画作成 避難訓練(火災) 安全点検	津波避難訓練 交通安全教室	サイバー犯罪防止教育計画	総合防災訓練（地震） 普通救命講習会	地域防災訓練		避難訓練（火災）			年度末反省	次年度計画
	生徒指導	防犯計画作成 不審者対応訓練 校舎内外巡回		サイバー犯罪防止講演会	夏休みの生活設計と安全・防犯 地域パトロール 職員安全研修	秋の交通安全指導の啓発 防犯教育講演会		登下校時の防犯安全指導（冬期期間）	冬休みの生活と防犯対策		薬物乱用防止教室 年度末反省	次年度計画
	校内防災	組織確認 校内防災訓練			校内防災訓練	地域防災訓練				地域防災訓練	年度末反省	次年度計画
	地域防災	組織確認				地域防災訓練				地域防災訓練	年度末反省	次年度計画
	校外関係組織	年間活動計画立案	地区定例会	地区定例会	地区懇談会実施	地区定例会	地区定例会	地区定例会	地区定例会	地区定例会	地区定例会	年間反省